

# 代表質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月22日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	19分	金城 勉(公明県民会議)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 知事の政治姿勢について

#### (1) 基地問題について

- ア 普天間飛行場の辺野古移設は厳しいのではないか。
- イ 嘉手納統合案に対する知事の見解を求める。
- ウ 読谷村の米兵によるひき逃げ事件の経過説明を求める。
- エ 日米地位協定の見直しをいかに具体化するか。今回の事件では、起訴前の身柄引き渡しの問題が課題として浮き彫りになった。
- オ 嘉手納ラブコン返還の進捗状況はどうか。

#### (2) 鳩山政権への評価はどうか。マニフェスト、普天間問題、政治と金等。

### 2 総務部関連について

#### (1) 行財政改革について

- ア 平成22年度から始まる「新沖縄県行財政改革プラン」について
  - (ア) 簡素で効率的な行政運営システムを構築するために事業棚卸し、事業仕分けを具体的にどのように図っていくのか。
  - (イ) 県と市町村の適切な役割分担に向け、権限移譲をどう図るか。
  - (ウ) 財政基盤の確立について、新税の導入等を含め歳入の確保、歳出の見直しを具体的にどう図るか。
  - (エ) 効果、目標設定をどうするか。

#### (2) 地方の財源問題について

将来、消費税を増税して福祉目的税にし、医療・介護などの社会保障の財源にするとの主張があるが、それは政府の権限を大きくすることにつながり、地方分権に逆行する。税金を社会保障に使う場合は、所得再配分の視点から所得税を当てるほうが理にかなっている。消費税は、地方の財源にすべきとの主張をどのように受けとめるか。

### 3 企画部関連について

#### (1) 沖縄科学技術大学院大学について

- ア 開学スケジュールは予定どおり進捗しているか。
- イ 周辺整備事業の進捗状況はどうか。
- ウ インターナショナルスクールの建設、開校に向けた進捗状況はどうか。

#### (2) 沖縄振興計画の総点検について

- ア 総点検により明らかになる課題をどう生かすか。
- イ 沖縄振興計画を支える特例制度は継続、廃止、改善・修正等どのように検討されているか。
- ウ 総点検は、2012年度以降の県政運営にどう反映させるか。

#### (3) 沖縄21世紀ビジョンについて

- ア ビジョン策定後、基本計画、実施計画を想定しているが、沖縄振興計画との連動性をどう考えているか。
- イ 「にぬふぁ星」としてのビジョンを県民とどう共有するか。

(4) オープンスカイ政策について

日米両政府が来年10月までに発効する内容で航空自由化協定に調印した。オープンスカイ政策による那覇空港への予想される影響はどうか。また、アジアを視野に入れた生かし方をどう考えるか。

(5) 離島物産振興について

「沖縄離島共同市場・島人ぬ宝プラザ」での離島物産の売り上げ実績と今後の展開はどうか。

4 福祉保健部関連について

(1) 子育て支援、人材育成について

ア 「保育所待機児童対策特別事業」の運用改善により、認可化、待機児童解消の目標はどう変わるか。

イ 適用範囲が既存施設の改修に限定されるが認可化は促進されるか。

ウ 待機児童解消のためには、新築にも適用されるほうがはるかに認可化は進む。新築にはなぜ適用されないか。

エ 認可化に伴い市町村の保育料の法定外負担がふえる。この問題は改善されるか。改善のためには税法改正が必要ではないか。

オ 市町村の保育料法定外負担の実態を把握しているか。

(2) 「子ども手当」について

ア 民主党マニフェストは全額国庫負担をうたったがそのとおりになっていない。なぜか。

イ 「児童手当制度」に上乘せする制度設計になったため、市町村負担を残した。従来の市町村負担額の実数を把握しているか。市町村の新年度予算編成への影響はどうか。

ウ 民主党は、一貫して児童手当制度拡充に反対してきた。なぜ、児童手当制度を踏襲していると考えるか。

エ 子ども手当は例外なく受け取れるか。

(3) 介護問題について

ア 県内の特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設等の需給バランスはどうか、今後の計画はどうか。

イ 介護保険制度の事務手続の簡素化、要介護認定の簡略化等を求める声が強いが今後の対応はどうか。

ウ 介護保険料抑制への公費負担引き上げについて国に要請すべきではないか。

エ 介護職員の処遇改善へのさらなる対策はどうか。

(4) はしか対策について

ア 県内の感染実態はどうか。

イ 厚労省は2012年までに国内流行をゼロにする目標を立てているが、県内の取り組み状況はどうか。

ウ 各学校での集団接種の実施状況はどうか。

(5) 県立病院の再建計画の進捗状況について

ア 独法化も視野に入れながらの再建計画の進捗状況はどうか。

イ 専門性が要求される事務局など各部署における人事配置は適正運営ができているか。

ウ 7対1看護等を実施するための定数条例の改正はどうか。

エ 医師の適正配置は行われているか。欠員のある病院、診療科の実態はどうか。対策はどうか。

(6) 脳脊髄液減少症について

ア 脳脊髄液減少症の治療病院を県庁ホームページでの紹介はどうかと提案してきましたがいかがでしょうか(全国42府県実施)。

イ 教育現場における「定期健康診断調査」の中に、脳脊髄液減少症の調査項目を含めてはどうか。

ウ 教育現場における同症の啓蒙活動をどう取り組むか。

## 5 観光商工部関連について

### (1) 雇用問題について

- ア 高卒、大卒の新卒者就職内定率の状況と対策について
  - イ 新卒の未就職者に対する支援策として、就職のために職業訓練を受けることで最大月12万円の生活費が援助される「訓練・生活支援給付金」制度が適用予定だが、制度周知と活用についてどう取り組むか。
  - ウ 合宿生活を通してニートの就労支援をする「若者自立塾」が鳩山政権の事業仕分けによって「廃止」と判定された。事業開始から4年以上が経過した事業。県内における影響はどうか。
- (2) 海上輸送のカボタージュ規制の緩和について、国は厳しい状況だが、製造業立地、経済振興の上から、ぜひ実現すべきである。今後、県の対応はどうか。
- (3) 太陽光発電設置への支援策の取り組みはどうか。
- (4) 全国エイサー大会開催に向けた検討状況、方針決定はどうか。

## 6 文化環境部関連について

### (1) 沖縄国際アジア音楽祭について

- ア 今年度の取り組み状況はどうか。
- イ 観光客誘致、経済効果、文化交流等について予想値はどうか。
- ウ 次年度の取り組み予定はどうか。
- エ ミュージシャン、企画、運営等、人材育成につながる運営になっているか。

## 7 農林水産部関連について

- (1) もずく養殖振興について、平成21年度の消費拡大、普及等の事業効果はどうか。
- (2) 新年度の取り組みについて御説明ください。

## 8 土木建築部関連について

### (1) 泡瀬地区埋立事業について

- ア 今後の展望はどうか。
  - イ 出島にかける橋の費用負担は、事業計画の中でどう位置づけられているか。
- (2) 中城湾港新港地区物流拠点化に向けた定期船就航実証実験事業について
- ア 事業内容について説明を求め。
  - イ 中部地域地元企業の活用についてどう考えているか。

## 9 教育委員会関連について

### (1) 裁判員制度の導入による学校現場における「法教育」の取り組みについて伺う。

- ア 「法教育」の目的は何か。
  - イ 教育現場での実施状況はどうか。
- (2) インターネットによる犯罪防止、いじめ対策のため、「ネットパトロール事業」が効果的。行政・教育・警察が連携することにより青少年の健全育成、犯罪防止やいじめ等への早期対応、情報モラルの向上など事業推進について県教育庁の見解はどうか。
- (3) 美咲特別支援学校幼稚部の定員増問題について、学校側と父母との関係が問題化しているが今後の対応をどうするか。

# 代表質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月22日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	19分	上原 章(公明県民会議)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 産業振興・雇用創出について

- (1) 世界経済の混迷が続く中、国内では長引く不況で景気の二番底が懸念され、本県においても観光客の減少、公共工事削減による建設業界の収益悪化、生活保護者の急増、高い失業率等、県民生活は依然として厳しい状況が続いています。一日も早い景気回復、雇用環境の改善が求められているが県内の経済、雇用環境の厳しさについて知事の認識を伺います。
- (2) 知事が就任して3年余が経過したが、県内の産業振興、雇用創出の成果をお聞かせください。また残り1年、知事はどう取り組むのか。
- (3) 多くの県民が安定した正規雇用を求めています。県の取り組んでいる雇用対策で正規雇用に結びついた成果を伺います。
- (4) 過去最も厳しいと言われている新卒者の内定状況、対策を伺います。
- (5) 日本航空の事業再生に伴い、離島を含む路線の廃止や関連企業への影響が懸念され、県民から不安の声が寄せられています。厳しい事態も想定し対策を図る必要があると思うが県の対応を伺います。

### 2 中小企業支援について

- (1) 「中小企業支援計画」について
  - A 事業内容の広報活動が弱いとの指摘があるが県の対応を伺います。
  - I 成果を伺います。「県単融資制度」の執行率も含め各事業は十分に効果を出していると考えているのか。
  - ウ 事業効果の検証はどうなっているか、現場の声は反映されているか、具体的な声、県の対応を伺います。
  - エ 「県単融資制度」利用促進のため、経済団体の代表も含めた促進協議会を設置する必要があると思うが見解を伺います。
- (2) 国・県発注公共工事の県内企業受注率の状況を伺います(金額も含め、過去3年間の推移)。
- (3) エコアクション21(EA-21)認証習得の普及啓発、工事入札参加資格の審査項目への採用、ISOと同一の加点配分適用導入が求められているが県の対応を伺います。

### 3 農林水産業の振興について

- (1) 沖縄ブランドの確立、県外・国外への販路拡大が重要と考えるが県の取り組み・効果を伺います。
- (2) 地産地消の推進、自給率向上の取り組み・効果を伺います。
- (3) 後継者育成について現状及び中長期的展望が必要と考えるが対応を伺います。
- (4) 「浮魚礁漁場整備事業」について、平成22年度当初予算が対前年比、大幅に減少しているが、その理由は何か、県は平成23年度までに、37基設置するとしていますが状況及び計画をお聞かせください。

### 4 観光振興について

- (1) 「観光圏」の認定申請について、本県のさらなる観光振興を図る上で必要と考えるが県の対応を伺います。
- (2) 量的質的な拡大戦略が必要と考えるが取り組みはどうなっているか。

## 5 福祉、介護、医療について

### (1) がん対策について

- ア がん検診受診率向上の取り組みを伺います。
- イ 乳がん・子宮頸がんの無料クーポン制度継続について、国は22年度予算案で事業予算を3分の1まで削減するとしているが、現状はどうか、市町村での継続実施に影響はないか。
- ウ 子宮頸がんは20代前半から30代の若い女性に急増しており、公明党の取り組みで、国は昨年9月、予防ワクチンを正式に承認しました。今後ワクチンの摂取普及と、公費助成の支援が必要と考えるが県の対応を伺います。
- エ 「がん対策行動計画」の内容について、患者や家族、関係者からの声は反映されているか、どのような要望があり、県はどうか対応したか伺います。
- オ 「がん対策推進条例」の制定が必要と考えるが見解を伺います。

### (2) 発達障害者支援について

- ア 市町村に派遣する「サポートコーチ」の内容を伺います。
- イ 南部医療センター・こども医療センター「こころの診療科」の再開はどうなっているか。

### (3) 知事は高齢者の認知症対策に取り組むとしているが内容を伺います。

- (4) 認知症サポーター養成事業について、全国と比較して取り組みが弱いと思うが、現状(全国との比較)及び県の対応を伺います。
- (5) コザ児童相談所一時保護所の整備事業について、設置について決定したことには一定の評価はするが、2012年開設は遅くないか。
- (6) 平成22年度新規事業「小児救急電話相談事業(#8000)」の内容、効果を伺います。
- (7) 急患空輸の体制について

- ア 宮古、八重山を含む離島全域の緊急患者を自衛隊や海上保安庁によるヘリコプター等の搬送で十分と考えているのか(通報より30分以内で到着できるのか、医師や看護師の確保、手当ての対応はどうなっているか実態を伺います)。
- イ 20年12月スタートした1機目のドクターヘリの実績を伺います。予定エリアは十分カバーできたか、余力があるのか、2機目の必要がないか。
- ウ 広い島嶼県の本県をカバーするには、県保有の消防防災ヘリの導入は必要ないか伺います。

## 6 土木・環境対策について

- (1) 鉄軌道の導入を図るとともに、バスやタクシーを含めた総合交通体系の構築整備が必要と考えるが、具体的な取り組みがなされているか伺います。
- (2) 河川愛護活動をもっと積極的に(県民への協力呼びかけ、助成金の拡充等)取り組む必要があると考えるが対応を伺います。
- (3) 国は2020年までに1990年比で温室効果ガスを25%削減するとしていますが、自然エネルギーの導入を含め県の温暖化対策の計画、目標、取り組み状況、効果を伺います。

## 7 離島振興について

- (1) 南北大東地区の地上デジタル放送整備について、取り組み状況及び整備後の費用、島民への負担はどうなるのか。
- (2) 国は6月より高速道路の無料化を実施するとしているが、離島の空路及び旅客航路の確保、運賃の低減化は重要と考えるが対応を伺います。
- (3) 離島における生活物資の本島並み価格の実現が求められているが、現状と対策を伺います。特にガソリン等の燃料費はどうなっているか。
- (4) 離島特産品の販売・開発支援事業の内容、効果を伺います。積極的に拡充、強化する必要があると考えるが対応をお聞かせください。
- (5) 離島から本島への高校進学者の学生寮整備が必要と考えるが知事の見解を伺います。

## 8 教育行政について

- (1) 本年は平成20年衆・参両院全会一致の決議で制定された「国民読書年」であります。しかしながら国の事業仕分けで22年度予算案では、子供の読書や体験活動を応援する

「子どもゆめ基金」が廃止され、子供の読書活動を推進する事業は大幅に縮減されたとのこと、仕分け結果に寄せられた国民からの意見のうち、実に9割近くが反対であったにもかかわらずです。県内への影響と廃止・縮減について教育長の見解を伺います。

- (2) 児童生徒が本に親しむことは大変重要です。現状と取り組みを伺います。
- (3) 学校図書館の図書購入費が例年、国から予算化された額の8割程度にとどまっているとのこと、読書教育の質が問われています。教育長はこれでよいと考えているのか、どう対応しているのか。
- (4) 学力向上及び語学教育は重要と考えるが取り組みを伺います。
- (5) いじめ対策について、昨年11月うるま市で起きたいじめによる死亡事件以降、県はどのような対策を講じているのか、いじめ根絶で県内外に参考になる推進事例はないか、調査はされているのか伺います。
- (6) 国は22年度予算で特別支援教育支援員を4000人程度増員し、費用は地方交付税として措置するとしています。県内の対応はどうなっているか。
- (7) 特別支援学級で知的、言語、情緒等、障害別に教師を配置する必要があると考えるが、教育長の見解を伺います。

# 代表質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月22日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	19分	新垣 清涼(社大・結)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事公約について 知事就任から3年目が過ぎた。掲げた公約の自己評価で80点以上だと自信を持って県民に示すことができる政策を上位5つ示してください。努力はしたがなかなかうまくいかなかった政策は何か、3つ示してください。次に2度の訪米による成果は何か。日米地位協定の改定や環境問題に対する具体的な改善に向けた両政府の取り組み・動きはあるのか。</p> <p>2 基地行政について 米軍普天間基地の危険性の除去について、知事は日米両政府や米軍に対してどのような改善を求め、どのように改善されたか。名護市長選挙で辺野古への基地建設に反対を訴えた稲嶺さんが当選しました。地元の民意は基地建設に反対が示されたと思うが、知事の見解を求めます。</p> <p>3 経済的自立に向けた取り組みについて (1) 離島島のハンディをどのように克服するか。 (2) 県民の努力、運動として取り組むものは何か。 (3) 国の支援を受けて取り組むものは何か。どのような施策を求めるか。</p> <p>4 行財政改革について (1) 09年度県事業「棚卸し委員会」の結果と10年度の取り組みについて (2) 自主財源の確保はどのように取り組むか。</p> <p>5 労働行政について (1) 政府による緊急雇用政策と県独自の失業率改善のこれまでの取り組みと効果(成果)について示し、今後の取り組みと期待される効果を示せ。 (2) 県の外郭団体等への天引きについて</p> <p>6 産業振興について (1) 農林水産業の振興と食料自給率の向上について、これまでの取り組みとその成果を示し、今後の課題と対策を示せ。 (2) 地産地消推進のこれまでの取り組みと成果を示し、今後の課題と対策を示せ。 (3) 地域特性を生かした「沖縄ブランド」産業振興の取り組みはどうなっているか。</p> <p>7 観光振興について 1000万人誘客に向けた今後の課題と対策について (1) 1000万人の観光客が来県する場合は航空機が主になると思われるが、便数は何便が離発着するのか。空港の整備は十分か。航空管制体制はどうなるのか。 (2) 目標年度までの誘客数と各年度の取り組みを示せ。 (3) 各年度の水、電気やレンタカーなどの需要予測とその対策を示せ。 (4) 各年度の経済効果や雇用効果について示せ。 (5) 上記以外の課題は何か、解決するための期間と費用を示せ。</p>			

# 代表質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月22日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	19分	比嘉 京子(社大・結)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 教育行政について

- (1) 本県教育の理念について改めて問う。
- (2) うるま市男子中学生暴行死事件と女子中学生暴行事件の検証と再発防止策について問う。2003年に北谷町で起きた事件の教訓がなぜ生かされなかったのか問う。
- (3) 「新指導カルテ」は、さまざまな観点から十分な論議が必要であると同時に、教師の多忙化に拍車をかけるものであり再考すべきである。
- (4) 知事公約である30人以下学級の次年度の見込みはどうか。
- (5) 文科省の悉皆学力テストは見直しされるが、本県の対応はどうか。また、それ以外の本県独自の学力テストは年間何回あるか。
- (6) 栄養教諭の配置状況を問う。また、学校栄養職員の配置状況と正規・非正規の割合について伺う。
- (7) 教職員の多忙化解消について進捗状況を伺う。
- (8) 教職員の病休の推移と対策について伺う。
- (9) 2008年度の教員候補者選考試験判定ミス以降、新規採用への影響はどうか。
- (10) 知事の公約である「100人の高校生国外留学生派遣事業」の人数と予算の推移を問う(県費と国費について)。
- (11) 図書館行政について

ア 県立図書館と市町村立図書館の役割の違いについて問う。さらに、県立が果たす市町村立図書館への役割は何か。

イ 本県の図書館設置率は、全国的に見るとどのような位置にあるか。

### 2 福祉行政について

- (1) 高齢者福祉施設への待機者数は何名か。解消に向けた計画はどうなっているか。
- (2) 保育行政について
  - ア 公立保育所・認可保育園の定員総数は幾らか。現状は定員に何名上乗せして入所(園)しているか。
  - イ 定員より上乗せすることにより、保育所設置基準における乳幼児1人当たりの最低基準面積よりどれくらい狭隘になっているか。
  - ウ 直近の待機児童数は何名か。その解消のための計画はどうか。
  - エ 認可外保育施設を認可化するための「保育所待機児童対策特別事業」の施設改善費が700万円から3000万円に引き上げられた。それによる効果はどうか。

### 3 健康推進行政について

- (1) 平成14年に策定した「健康おきなわ2010」の検証について
  - ア 健康診査の受診率は目標値に達しているか。
  - イ 早世の予防について改善された点は何か、評価を問う。また、自殺対策はどうか。本県の自殺者数からすると「自殺対策班」を立ち上げて対処すべきと考えるがどうか。
  - ウ 健康寿命の延伸のために最も力を入れた施策は何か、評価について問う。
- (2) 「健康おきなわ2010」実現のための予算とその費用対効果はどうか。

- (3) がん対策における本県のがん検診率を問う。また、対策予算は全国的に見てどうか。
- (4) 県立浦添看護学校の志願者数の推移を問う。

#### 4 県立病院について

- (1) 今回の定数条例改正による職種別の増員はどうなっているか。
- (2) 病院事業局長は、これまで「南部医療センター・こども医療センターで7対1看護体制を実現する」と答弁してきたが、同センターは来る4月から7対1看護体制は実施できるか。
- (3) 中部病院の7対1看護体制もセンター同様に必要性・緊急性が高いと思うが、いつから実施できる見通しか。
- (4) 今回の定数条例の改正は病院事業の経営再建計画にどのような影響を与えるか。

#### 5 農林水産行政について

##### (1) 沖縄振興施策による成果について

- ア 農業者、漁業者等の担い手達成率を伺う。
- イ 農業生産額、漁業生産額、林業生産額の達成率を伺う。
- ウ 林業の振興について評価を伺う。また、今後の林業の展望を問う。

#### 6 平成22年度予算について

- (1) 県立図書館八重山分館予算はどうなっているか。
- (2) 僻地における食に関する支援事業補助額の本年度予算はどうか。
- (3) 軽費老人ホームを支える補助金の推移と本年度予算はどうなっているか。

# 代表質問通告表

平成22年第1回沖縄県議会(定例会)

02月22日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	30分	赤嶺 昇(改革の会)	知事 関係部長等

## 質 問 要 旨

### 1 知事の政治姿勢について

- (1) 知事は、11月の知事選挙に出馬する決意があるかを伺う。
- (2) 知事の任期が1年を切ったこの時期に副知事を交代する理由を伺う。
- (3) 沖縄市長選挙、参議院選挙で、知事はどの候補者を応援するのかを伺う。
- (4) 普天間基地の危険性除去と移設について知事の実績を伺う。
- (5) 普天間基地について、知事の今後の政治決断を伺う。
- (6) 日米地位協定の見直しを強化する公約の実績を伺う。
- (7) 知事は、これまでペトロプラス社とどういう連携をとってきたのかを伺う。
- (8) 県職員の天下りについて知事の認識を伺う。
- (9) 県内自殺者が増加していることに対し知事の見解を伺う。また、自殺者がふえている要因に失業者の多さとの指摘があるが、知事の見解を伺う。
- (10) 沖縄自動車道無料化のメリット・デメリットを伺う。

### 2 福祉行政について

- (1) 知事公約の保育所待機児童ゼロの実績を伺う。
- (2) 認可外保育施設の課題と支援策を伺う。
- (3) 待機児童対策特別事業基金の活用について県の見解を伺う。
- (4) 民間法人保育所の一般財源化に反対すべきだと思うが県の見解を伺う。
- (5) 乳幼児医療費の現物支給を実現するために現政府と調整を図るべきではないかを伺う。
- (6) 学童保育の課題と支援策を伺う。
- (7) 発達障害の課題と取り組みを伺う。
- (8) 肺炎球菌予防接種への公費助成の推進について見解を伺う。

### 3 医療行政について

- (1) 病院の職員定数を枠外にしなかった理由を伺う。
- (2) 今後、中部病院や他の県立病院でも7対1看護体制にしていく考えなのかを伺う。
- (3) 県立北部病院産婦人科の課題と対策を伺う。

### 4 教育行政について

- (1) 美咲特別支援学校幼稚部の課題と対策を伺う。
- (2) 県立図書館八重山分館の存続について教育長の地元住民に対する発言が大きな問題になっていますが、その見解と同分館を今後どうするのかを伺う。
- (3) 教育庁や教育現場においてこれまでさまざまな問題が発生していますが、教育委員会の役割と存在意義について伺う。
- (4) 教育庁の天下りについて教育長の見解を伺う。

### 5 観光行政について

- (1) リーディング産業である観光分野をさらに強化するため、観光部門を観光部、もしくは観光局として単独で設置すべきであると思うが見解を伺う。
- (2) 観光コンベンションビューローの役割とは何か。また実績と権限があいまいであり、そのあ

り方を見直す必要があると思いますが見解を伺う。

- (3) 観光客が減っています。この緊急事態に対しての県の取り組みを伺う。
  - (4) 外国人観光客誘致に対する取り組みを伺う。
  - (5) 台湾観光客誘致の取り組み及び台湾事務所の体制強化について伺う。
  - (6) 美ら島沖縄総体2010は、県観光にとって起爆剤になると思うが、観光商工部と観光コンベンションビューローの取り組みを伺う。
  - (7) 沖縄北部国際観光リゾート構想について県の見解を伺う。
- 6 土木建築行政について
- (1) 土木建築業界の経営状況と課題と対策を伺う。
  - (2) 総合評価方式の課題と対策を伺う。
  - (3) 経営難を理由に同業界において新卒の雇用が厳しい状況であります。最低制限価格を95%に引き上げて人材育成を図るべきではないかを伺う。
  - (4) 米軍工事の発注(ポンド)に対する県の対応策を伺う。
  - (5) 建設産業支援センター設置の進捗状況を伺う。
- 7 環境行政について
- (1) エコカー、電気自動車等の普及推進に向けた取り組みを伺う。
  - (2) 自転車は、CO2温室効果ガス削減や健康、観光産業分野に効果的であると考えているが、自転車をさらに有効活用するためには、サイクリングが安全で気軽にできる道路づくりが必要だと考えます。沖縄県全体をサイクリングロードにする施策が必要だと思いますが県の見解を伺う。
- 8 公安行政について
- (1) 読谷村でのひき逃げ事故や金武町の流弾事件等で、県警本部長はじくじたる思いをされていますか。
  - (2) 米軍基地が存在する本県の特殊事情をかんがみて警察官の増員が必要であると思いますが、本部長の見解を伺う。
- 9 交通政策行政について
- (1) モノレール延伸の進捗状況を伺う。
  - (2) 22年度政府予算に3000万円の鉄軌道の調査費が計上されていますが、県はどう取り組むのかを伺う。